



橋の子だより

橋の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人

No.9 文責：教頭

須坂市立小山小学校

橋の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人

1月9日(木)三学期始業式 校長先生のお話より

明けましておめでとうございます。

さて、二学期の終業式でお話したことを振り返ってみましょう。お正月は、自分が自分の原点に立ち返る月。つまり、自分が自分になる月、それが正月ですというお話をしました。覚えていますか。

皆さんは、お正月にどんな目標をたてましたか。

今年は、巳年（みどし）です。蛇は古代から再生や永遠の象徴とされ、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿がその象徴となっています。こうした意味から、巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも言われています。小山小学校すべてのお友だちが失敗を恐れずに新しい挑戦や前向きに取り組むことを願っています。

三学期は46日間あります。三学期は新しい出発をする準備の学期です。

6年生は小山小を卒業し、中学校に進学します。2・4年生は、進級とともにクラス替えがあります。1・3・5年生は、ひとつ上の学年に進級します。そして、5年生は学校のリーダーになります。皆さんなら必ずできるはずですよ。

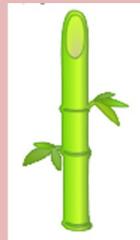
今日は、皆さんに竹のお話をします。

皆さんは、今日の自分は昨日の自分ではありません。明日の自分は昨日の自分ではありません。今日の自分は、明日の自分をつくっていくことになります。竹には節があります。節がなかったら、中は空洞ですからすぐに折れてしまいます。しかし、この節が、上からの力に耐えるバネの役割になったり、風などの横からの力に対して、ねじれたり割れたりしないようになっていきます。竹は、節を作りながらまっすぐに伸びていきます。

三学期は、自分で自分の節をつくる大事な時です。4月からの新しい自分づくりに向けて、新たにたてた目標に向かって努力することが、竹のような節を作り、明日の自分を作っていく第一歩です。三学期はあっという間です。今の学年での生活の1つ1つの節目も大事に生活しましょう。

では、新しい出発のためには何をすればよいのでしょうか。

4月からの「成長」を振り返ること、お世話になった人やものに感謝すること、今まで以上に今を大事にすること、この3つを大切にしましょう。元気で三学期を過ごし、すてきな終業式・卒業式を迎えましょう。



三学期

- 自分で自分の節をつくる
- 一つ一つの節(節目)を大事にする

新しい出発のために なにするの?!

◆4月からの「成長」をふりかえる

(大きくなったこと・がんばったこと・できるようになったこと)

◆お世話になった人やものに感謝

◆今まで以上に 今を大事にする

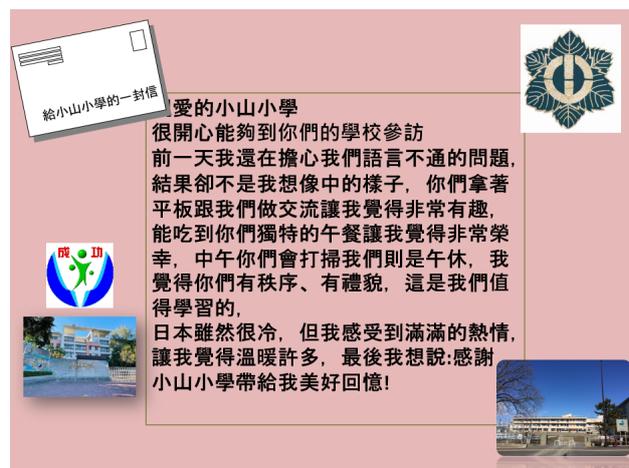
今を大切にできない人は、将来も大切にできません

すてきな 終業式・卒業式を 迎えよう

12月10日に交流をした台湾のお友だちからメッセージをいただきました。その一部を紹介します。(訳は正確ではありません。ご了承ください。)

小山小学校の皆様

皆さんの学校を訪問できてとてもうれしかったです。前日までは、言葉の壁が心配でした。結果は私が想像していたものと違っていました。皆さんがタブレットを使って私たちとコミュニケーションをとれることは、とても興味深かったです。掃除をしたり、昼食休憩を取ったりできたことをとても光栄に思います。礼儀の正しさ、これは私が学ぶべきことです。日本はとても寒いですが、私はやる気でいっぱいです。とても温かい気持ちになりました。最後に言いたいのは、「ありがとう」です。小山小学校は私に素晴らしい思い出をもたらしてくれました。



令和7年(2025年)がすばらしい年でありますように。
かぜに負けず、元気で三学期を過ごしましょう。



<保護者の皆様へ>

三学期もよろしくお願ひいたします。

学校評価アンケートの質問項目「3つの柱に関わって、お子さんの良い姿や成長を感じる場面などありましたら教えてください」に、たくさんのご回答をいただきました。一部ご紹介いたします。

- ・疑問に思うことを知ろうと調べたり、学校で教えてもらった、やったことを家でも行ったりしています。
- ・高学年になり先生に相談したり、交渉したり、建設的に物事を考えられるようになってきました。そういう雰囲気や環境が学校や学級にあるというのはとても良いことだと思います。
- ・台湾の小学生との交流がとても楽しいようです。自ら相手の国について調べたり、その国が抱える問題などにも興味を持ったりしているようでした。また他の国から見た日本の印象について考えるなど、グローバルな視点で物事を考えられるようになりました。
- ・社会の授業で習った内容を深掘りしたいと、市立図書館で本を借りたり、実際に見にいきたいと言い行動に移したりする姿がありました。
- ・臥竜公園や百々川などに遊びにいったり、季節や自然を感じる授業が出来ることはとても良いことだと思います。実際に見たり、触れたりしたものは子どももよく覚えて興味を持ったりしているようです。
- ・自信がなかったことも、先生や友達に支えてもらって、自信をもって行動することに努力をはじめ、友達との関わり方など自分から考えて話すようになってきています。
- ・早寝早起きを親に言われなくてもやっています。宿題、手伝い、自由時間を自分で時間配分を考えてやっています。ご飯のときに、魚や野菜の産地を気にして、「これは〇〇県で1番取れるよね」など授業で覚えたことを教えてくれます。

2月には、学年ごとの参観日があったり、児童会の引継ぎが行われたりします。子ども達の成長した姿をお子さんにお伝えいただければ幸いです。